

2020 年度岡山大学実践コミュニケーション論 レジューメ【A クラス】

第 5 セッション(最終セッション)

第 15 回 01 月 27 日(水): 成果発表会@文法経講義棟 12 番講義室

第 16 回 02 月 03 日(水): 振り返り

第 15 回 成果発表会のプレゼン

成果発表会予定表(参加された先生方へのご案内): <http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/2020assessment-2.pdf>

方法: 全 13 のプレゼン。合計時間約 86.5 分間(各チームのパソコン準備時間を含む)。

各課題のプレゼンで他チームから頂いた意見や感想、さらに振り返りを採り入れた各課題の修正(最終)プレゼンをしましょう。

①第 1 課題のプレゼン(各約 6.5 分間=合計約 40 分間): 第 1 課題のプレゼンで発表した各チームのプレゼン

②第 2 課題のプレゼン(約 6.5 分間): 第 2 課題で優勝チームのプレゼン

③第 3 課題のプレゼン(各約 6.5 分間=合計約 40 分間): 第 3 課題のプレゼンで発表した各チームのプレゼン

・第 1 課題及び第 3 課題のプレゼンについて、それぞれの課題に対する各チームのプレゼンが終了した後に、どのチームが一番良かったかを評決します。

⇒評決の用紙: <http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/2020assessment-1.pdf>

プレゼンテーション評価の採点方法

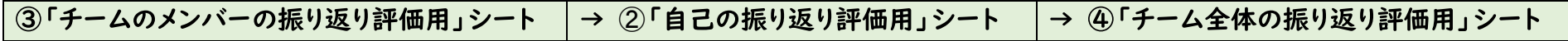
採点は、話し手の評価として、「聴きやすい」と「説得力がある」という点について、
またスライドの内容と構成として、「分り易い」と「良くまとまっている」という点について、

話し手の評価	聴きやすい	説得力がある
スライドの内容と構成	分り易い	良くまとまっている

次の点数で評価することにします。

素晴らしい:5 点	良い:4 点	普通:3 点	もっと工夫が欲しい:2 点
-----------	--------	--------	---------------

以下の振り返り評価シート作成の順番にしたがって、ここで、もう一度振り返っておこう：



- ② 自己の振り返り評価用 (PBL 終了時作成) <http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/reflection-personal.pdf>
「自己採点」以外は、他のメンバーが自分に対して評価した③の「チームのメンバーの振り返り評価用」シートから転記します。
- ③ チームのメンバーの振り返り評価用 (PBL 終了時作成) <http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/reflection-member.pdf>
自己以外のチームのメンバーの採点をします。採点后、該当者の②の「自己の振り返り評価用」に転記します。
- ④ チーム全体の振り返り評価用 (PBL 終了時作成) <http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/reflection-team.pdf>
チームメンバー各自の各②「自己の振り返り評価用」シートの右端の「合計評価点数」を、この④「チーム全体の振り返り評価用」シートに転記して、そのチーム全体の評価をして、各チームごとに比較評価します。

⇒これらの②～④の振り返り評価用資料は、それらの作成を通じてチーム内で相互に評価し合っているという意識により、さらにチーム間の比較により、チームワークに対する自己のモチベーションが高まり、チームに対するモラルと貢献度が向上することを目指しています。

② 自己の振り返り評価用

③ チームのメンバーの振り返り評価用

④ チーム全体の振り返り評価用

・最後のまとめとして、授業を振り返っての感想を次の用紙に簡単にまとめた上で、一人 2～3 分程度で、全員に向けて発表してみてください。

感想文用紙：<http://nagamitsu1950.sakura.ne.jp/impressions-or-thoughts-on-this-class.pdf>

☑ コピーを提出してください。